



筑波大学 CEGLOC

日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催



# 第3回 日本語教育とICT活用を考える <理念編>

<理念編>では、各回さまざまな講師をお招きして、講師のICT活用に関する考え方をお話しいたします。また、フロアとの意見交換を通して、理解を深めることを目指します。

義永 美央子（大阪大学）

ポストコロナ社会における  
日本語教育者の生きる道



日本語の文法を楽しく説明するYou Tube動画、ゲーム感覚で漢字が学習できるアプリ、世界中の人と交流ができるSNSグループ...ICTの発達によって様々な日本語学習リソースが開発されています。さらに2020年に始まった新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの社会を大きく変えてしまいました。このような状況の中で、日本語教育者にはどのような役割が求められているのか、一緒に考えてみたいと思います。

日時：2022年9月13日(火) 14時~16時

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー形式）

参加費：無料

参加申込：<https://forms.gle/QyGqbgUxRMan59PZ7>

参加者には開催2日前までにzoomのリンクをお送りいたします。  
参加者多数の場合はお申し込みを制限する場合がございます。

お問い合わせ先：[jp-kyoten\(at\)un.tsukuba.ac.jp](mailto:jp-kyoten(at)un.tsukuba.ac.jp)

 [jp\\_kyoten](https://twitter.com/jp_kyoten)



<参加申込>



<拠点HP>



筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、  
<理念編>：じっくり考える講演会、<ツール編>：すぐに使えるコンテンツワークショップ  
を目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。